

雪が消えるとすぐに花が咲きだす。雪の下で長い冬をじっと耐えていた濃緑色の葉には、泥が着いたりしてうす汚れているが、黄色の花は鮮やかである。葉は夏に落ちてしまうのでナツボウズともよばれる。葉の落ちた枝に赤い実が着くが、実のならない株もある。この木は雌雄異株なのである。

雄花はやや黄色が濃く、おしべの葯が花冠の外へつきだしている。雄花はいくらか小さく、緑色がかっている。また雄しべの葯は小さい。ただし、どちらとも決めかねるような中間的な

形態の花が多い。はっきりした分化への移行過程にあるのだろう。

夏の終りに葉を開き、花のつぼみをつけて越冬する。

本州でよく庭木として用いられるジンチョウゲと同属の木である。この木も庭園樹としてもっと用いられてもよい。

(造林科 菊沢喜八郎)

